



望洋荘便り



第 74 号
平成22年
1 月 発行

謹んで新春の

およろこびを申し上げます

平成二十二年 元旦

笑う門から見えてくるもの



社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

明けまして新年おめでとうございます。

新しい年が始まります。今年は明るい一年にしたいですね。「明るくなれないよ。こう悪いことばかり続いては」と言う方もいるかもしれません。

いいことがあるから明るくなるのは当たり前のことなのですが本当は逆であって、明るいからこそいい事があるのです。憂うつな時にこそ、笑顔やユーモアが必要です。それらは生活の調味料なのです。朗らかな笑いが、ちよど車のライトのように夜道を照らして、明るい道を選ばなくとも行く先々が明るくなるのと同じです。

友人や職場の仲間と、本当のことだけを話していたら、すぐに話題は尽きてしまいます。時には、ユーモアを混じえて、自分で話を創作し、支離滅裂な話であっても笑いを誘うことがあります。落語や漫才を本当の「はなしだ」と思っている人はいないでしょう。話半分に聞きながら、「そ

望洋荘入居者動向表

現在まで入居者数	総 数	退 所 者 (死亡)	(入院・移転)	入 居 中	
入 居 者 数	172	92	(63)	(29)	80

性 別	男 性	女 性	合 計
入 居 者 数	39	133	172

入所前の生活形態	家 庭	介護施設	医療機関	合 計
入 居 者 数	68	34	70	172

入 所 時 年 齢	70歳未満	70~75	76~79	80~85	86~89	90~95	96~99	100歳以上	合 計
入 居 者 数	3	13	23	62	34	33	4	0	172

(最高齢者98歳・最年少者63歳 平均84.0歳)

現在入所者の年齢	70歳未満	70~75	76~79	80~85	86~89	90~95	96~99	100歳以上	合 計
入 居 者 数	1	1	11	23	18	20	5	1	80

(最高齢者104歳・最年少者69歳 平均86.8歳)

望洋荘開設七年目を迎え、これまでの入居者の方々の動向を上表にまとめました。

平成 21 年 12 月 31 日現在

んなことはないでしょう」とチャチャをいれたり、囃したたりしながら、虚実を混じえての話しだから面白いし、罪もないはなしで、笑いの雰囲気があふれ明るい場を作っているのではないでしょう。

笑いは、神様がくださった大いなる心の叫びなのです。笑いは時には、寂しさを癒してくれます。落語のことは、たいいてい失敗談をネタにしたものが多い様です。この主人公は馬鹿だなぁと思わせます。自分をさげ笑わせる。これが日常の生活でも大事なことです。挫折や苦難も、一歩離れてみればユーモアになるし、いらだち、落ち込む自分を笑えたときに、そこに小さな希望が見えて、暗い気持ちから解放されるのではないのでしょうか。

笑いがもたらす明朗な気持ちは生活全てに及んで行く先々をそのまま明るく照らします。世の中の、ユーモア、笑い、詩、歌、漫画、音楽等々は世を朗らかにするために現れた神の恵みなのです。今年も職員自ら大声で笑ってください。入所者の皆さんに笑う門から見えてくる明るい世界に案内して下さい。

「新年会」豊間ユニット

一月九日（土）正午十二時より、二階塩屋岬ホールにて、豊間ユニットの新年会を開催致しました。当日は、ご家族様に料理をお手伝い頂き、慣れ親しんだ家庭料理をお出しする事が出来ました。入居者様も「おいしい」と大喜びでした。参加されたご家族からは、長い時間一緒に過ごす事ができ、たくさん笑顔が見られて良かったと話されていました。

「新年会」勿来ユニット

一月十日（日）午前十一時三十分より、二階塩屋岬ホールにて、勿来ユニットの新年会を開催致しました。この日は成人式という事もあって、晴れ着姿のお孫さんが来荘され華やかでした。新年会ではたくさんの料理と家族の温かみにふれて、生き生きとされている入居者様の姿が印象的でした。また恒例のビンゴ大会では賞品をゲットして大満足でした。

「新年会」薄磯ユニット

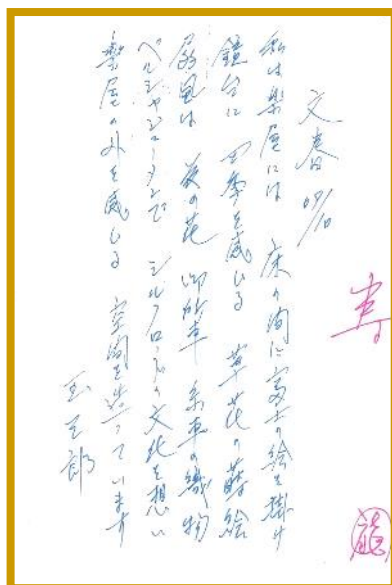
一月二十四日（日）午前十一時三十分より、二階塩屋岬ホールにて、薄磯ユニットの新年会を開催致しました。新年会は一〇四歳の山際様の開会宣言で始まり、テーブルの御寿司やお汁粉など…入居者様から「こんな美味しいもの食べられて最高！」と感激されていました。最後に放映されたスライドショーでは、ご家族様も感動したとご満悦でした。



「嘶家さんからの年賀状」其の⑤

いわき寄席にご出演された落語家さんから、毎年嘶家さんらしい賀状をいただいています。その中からいくつかご紹介させていただきます。

三遊亭 圓龍 師匠



文春

寿
龍

私は楽屋には、床の間に富士の絵を掛け鏡台に四季を感じる草花の時絵屏風は藤の花御所車糸車の織物ベルシャジュータンでシルクロードの文化を想い楽屋の外を感じる空間を造っています。

玉三郎

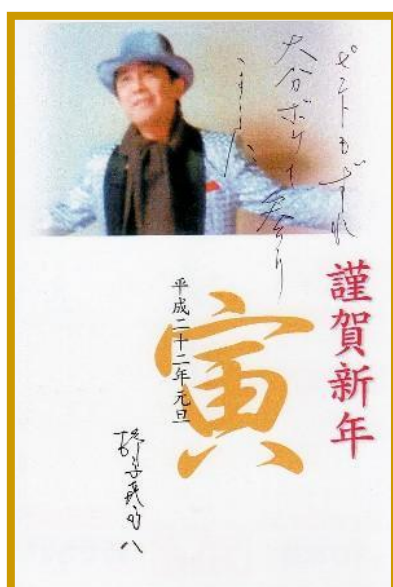
春風亭 一朝 師匠



謹賀新年

本年も宜しく
お願い申し上げます

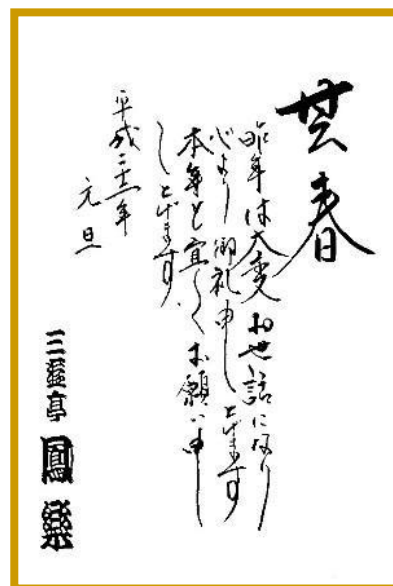
柳家 嘉多八 師匠



謹賀新年

平成二十二年 元旦
ピントがずれ
大分ボケて参りました

三遊亭 鳳楽 師匠



芸春

昨年は大変お世話になり心より御礼申し上げます
本年も宜しくお願い申し上げます
平成二十二年 元旦

昔昔亭 桃太郎 師匠



謹賀新年

本年もお世話になります。
平成二十二年 元年

新年を迎えて

『今年の抱負』

今年の目標

— 人の話を聞く余裕を持ちましょう —



介護老人福祉施設 望洋荘

施設長 須田 美保子

新年 あけまして おめでとうございます

病院や診療所などでの入院患者、また介護老人保健施設や福祉施設などで、よりよい人間関係を築くためにはコミュニケーションが一番大事です。その第一歩は、まず相手に話しかける事から始まると言ってもよいでしょう。そのためには、話し方に関する研修を受けたり書物など読んだりするという努力も必要です。

しかし話す事と同じように、或いはそれ以上に大切なことは、相手の話を「聞く」という事です。よく話す人はいても、よく聞く人は案外少ないものです。雄弁家が必ずしも人の心を捉え、人を説得するとは限りません。寡黙寡言(カモクカゲン)でも人の心を捉え、説得力を持つ人もかなりいらつしやいます。それは、「よく聞く」ことで、短くても相手の心に届く内容を話す事が出来るからだと思います。

近頃は、自己主張ばかり上手な人たちが多くなってきました。しかしそれではコミュニケーションは成り立ちません。人の話を心をこめて聞くことがいかに難しいか、そしていかに大切なことであるかを知り、家庭でも職場でも機会を捉えて、相手の話を「よく聞く」習慣を身につけたいものです。

「望洋荘」には、皆さんのご両親や祖父母に当たるような方々が住んでいられます。年老いて言葉数も少なくなってきました。皆さんの心やさしい気持ちで多くを語らせ、静かによく聞く耳を持つことを今年の目標にしてください。



二月の行事予定

二月三日(水) 午前十時
「節分豆まき」 施設全体

【二月のお誕生会予定】

- 二月一日(木) 勿来 高橋 義一様 (七十八歳) 誕生会
二月十日(木) 四倉 中村 照子様 (八十八歳) 誕生会
二月十日(水) 薄磯 丹野 庄次郎様 (八十五歳) 誕生会
二月十五日(金) 永崎 熊田ミヤ子様 (八十五歳) 誕生会
二月十五日(木) 勿来 伊藤 ムメ様 (八十五歳) 誕生会
二月十八日(水) 四倉 坂本 まつ様 (八十七歳) 誕生会
二月二一日(火) 四倉 和田美智子様 (七十二歳) 誕生会
二月二五日(火) 豊間 鈴木トクヨ様 (九十四歳) 誕生会
二月二六日(火) 豊間 鎌田ミツ子様 (九十三歳) 誕生会
二月二八日(火) 四倉 賀澤 英子様 (八十七歳) 誕生会

編集後記

『望洋荘』便り

平成二十二年一月三十一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373

FAX (0246) 55-7255